

11月19日CVV定例会 議事要旨(案)

日時：2025年11月19日(水)午後5時30分から

場所：(一社)近畿建設協会会議室

参加者(順不同・敬称略)：24名(会員・会友)

青木、天野、一ノ瀬、石原、祝、宇野、川谷、串田、栗田、黒山、斎木、下土居、清水、鈴木巖、

鈴木威、高田、友廣、夏秋、南莊、野坂、坂東、古川、吉岡、荒武

オブザーバー参加：小藪恭介・木村孔紀氏(地盤工学会関西支部若手セミナー幹事)

<定例会資料>

- ① 9月25日CVV定例会議事要旨(案)(黒山)
- ② 土木広報大賞応募用紙、応募要項(南莊)
- ③ 日本橋梁建設協会近畿事務所との打ち合わせメモ(夏秋)
- ④ 日本建設業協会関西支部とのメール交信記録(夏秋)
- ⑤ 2025年度会計中間報告(高田)
- ⑥ CVV活動での交通費支給基準(Ver2)、申請項目一覧(黒山)

<主な議事>

川谷代表の開会あいさつに引き続き、青木幹事長の進行で議事に入った。資料①議事要旨に関して川谷代表から修正意見があり承認された。その後の議事内容は以下のとおり。

1. 資料②に基づいて、土木学会主催の「土木広報大賞」に応募したことを報告した。いきいき教室での取り組みを来年度応募してはいかがか。(南莊)
 - ・ どのような経緯で応募することになったのか。(川谷)
→学会関連の情報だったと記憶しているが明確には思い出せない。(南莊)
2. 資料③に基づいて、日本橋梁建設協会近畿事務所からCVVに依頼があった「ブリッジトーク」について、幹事団との打合せ内容を報告した。(夏秋)
 - ・ 講師への交通費等の支給はあるのか。(黒山)
→幹事団には支給を依頼している。(南莊)
 - ・ CVVメンバーの参加は3人だけか。グループ討議があるようなので気になった。(川谷)
→先方からは3人との依頼であり、橋建協の幹事団も参加するので大丈夫だと考えている。(夏秋)
3. 日本建設業連合会関西支部事務局とのメールでのやり取り(資料④)を報告した。先方が多忙なようで年内の開催は無い見込み。(夏秋)
4. 10月31日開催の関西土木工学交流発表会において鈴木巖会員が発表したことを報告した。(青木)
5. 12月7日に開催する市民見学会の開催概要を報告した。グループメンバー以外で栗田、野坂、黒山会員が参加することとなった。(祝)
 - ・ スタッフ入れて40名程度なら可能なのか。定員に余裕があるなら知り合いに声をかけるが。(黒山)
→渡船の定員があるので現状程度でよいと考えている。(祝)
6. 神戸市内で土木施設調査、見学会を開催したことを報告した。(吉岡)
 - ・ 次年度以降の市民見学会につなげてほしい。(青木)

- ・ 普段は入れない施設の見学は喜ばれると思うが市民見学会は土日開催になるので施設管理者への対応（休日出勤となるため）が難しい。（南莊）
7. 11月11日にグループ代表者に集まってもらい自由討議した。グループ間の連携や情報共有、代表者を含むグループメンバーの流動化、グループの統廃合の検討が必要ではないか、等の意見が出た。
（川谷、青木）
8. 資料⑤に基づき前半期終了時のCVV会計の状況を報告した。繰越金が増える見込み。
- ・ 今後の支出見込みは（黒山）
→2万円くらいではないか。（高田）
 - ・ 市民見学会の資料印刷費の支出を予定してほしい。（祝）
9. 資料⑥に基づいて今年度の交通費の支出見込みについて調査した結果を報告した。10人から報告があり、金額が大きく再検討が必要との結論であるので、次回以降再度提案したい。（黒山）
- ・ 会費を値上げしてもよいのではないか。（祝）
 - ・ いきいき活動について、窓口の財団の担当者から交通費等を支給する可能性があるとの連絡があった。（鈴木巖）
 - ・ 申請金額を支出可能額で配分する（申請額×一定配分率）のも一案だと思う。（川谷）
 - ・ 若手セミナー関連で、地盤工学会関西支部からは交通費、講師料の支払いがある。（栗田）
 - ・ CVVが仲介した講演やセミナーについて、依頼団体から講師料が支払われるなら一定額をCVV会計に上納する制度があってもよいのではない。また、依頼団体から講師料などが支給されるよう働きかけてはいかがか。（南莊）
 - ・ 会費を上げるならこの場で方向性を決めたい。会費は運営費を貯うのが目的ではなく入会の意思確認との趣旨である。（川谷）
→普段参加していない会員の意見を聞く必要がある。（清水、黒山）
→ボランティアとして楽しみながら活動しているので交通費全額を貯う金額にする必要はないのではないか。（南莊）
→関西支部の助成がなくなる2年前に議論したが現状の方針に落ち着いた。（石原）
→様々な議論があるので次年度の総会に向けて議論を深めたい。（川谷）
10. その他
- ・ 阪神高速からの助成申請について現状報告した。（川谷）
書類選考を通過し、11月20日の本選考でプレゼンテーションを川谷が行う。その後、12月1日に助成決定のmailがあり、書面受取り後に事務手続きを経て、12月下旬に助成金が振り込まれ、2026年1月に活動期間が始まる。
 - ・ 次回は翌年1月15日（木）に開催する。

文責：黒山